



藤岡 徹 議員

### 問 グループホーム整備の進捗は

### 答 年度内に検討委員会を設置

健康福祉課長 すでに候補者を選定しており、今後、検討委員として委嘱をお願いし、年度内に、他町村の現地視察や、整備に係る財源や経済性の高い整備方法などを検討する予定。

議員 検討委員会のメンバーは、

町長 障がい者グループホームの円滑な運営のため、設置場所、事業運営主体、人員基準、地域の理解などの事前協議が重要と考える。今年度は、整備に関する準備段階として、町内の関係団体や有識者で構成する整備検討委員会を立ち上げ、協議を進める。

#### 障がい者グループホーム施設整備の進捗

議員 障がい者グループホーム施設整備計画のその後の進捗状況について伺う。

活動の実績は、「観光資源による町のイメージ向上」として、サイクルツーリズムの推進に取り組み、町内各所にサイクルステーションを設置するほか、レンタサイクルの整備、サイクルマップの制作や配布により、自

議員 目的や活動内容が分からないという町民の声がある。協働のまちづくりを掲げている当町では、周知を強化し、もっと住民を巻き込んだ事業にするべきでは。

町長 平成28年に設立されたDMO事業の推進母体である「くずまき観光地域づくり協議会」では、町民、関係団体、民間企業等及び行政が一体となり、地域経済の活性化と移住・定住人口の増加を図ることを目的として運営してきた。町内の幅広い分野、年齢の方々が繋がりながら新たな取り組みに挑戦している。

#### くずまきDMO事業の活動内容と成果

議員 くずまきDMO事業の活動内容と成果について伺う。



幅広い年齢の参加があったまちなか賑わい創出部会

町長 また、くずまき鍋や、くずまきワインなどの観光モニターツアーを実施し、町の観光資源の掘り起こしや町外への魅力発信に努めた。

議員 DMO事業では、商工会、農協、森林組合、誘致企業、金融機関、個人事業者、第3セクター、役員職員ほか、大学生や高校生など様々な分野から参加いただき取り組んでいる。また、活動等については、町のホームページやライブビジョン、くずまきテレビ、広報紙等で周知してきた。今後も引き続き周知の強化に努める。年度末には、事業報告会を開催するため、多くの住民にご覧いただきたい。

#### いらつやい葛巻推進課長

説明の後、くずまゝる内の防災室を見学した議員らは、町内10箇所設置された防災カメラの画像を一度にみることで、情報収集に役立つ」と感銘を受けていました。また、講演会後、町スポーツ協会神谷牧子氏を講師に健康アップ体操を実施しました。体操は、身体にも心にも効果のあるプログラムとなっており、体操を行う議員らは終始笑顔の絶えない、和やかな雰囲気

## Next page 一般質問 今ここが聞きたい

12月10日、5議員が一般質問を行いました。

一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。

議員の質問できる時間は、1時間以内です。

議事録の内容は、町のホームページと議会事務局で閲覧できます。

### 9ページ 藤岡 徹 議員

1. 障がい者グループホーム施設整備計画のその後の進捗状況について
2. くずまきDMO事業の活動内容について

### 10ページ 山崎 邦廣 議員

1. 将来の安全安心な地域環境の確保について

### 11ページ 竹花 結 議員

1. 安心の子育て環境について
2. 子どもたちの教育と今後の未来について

### 12ページ 柴田 勇雄 議員

1. 高齢者福祉への充実支援策対応について
2. 会計検査院から不当と指摘された整備事業について

### 13ページ 山岸 はる美 議員

1. 婦人消防協力隊の活動について
2. 交通安全母の会の活動支援について



防災室のモニターを見学（くずまゝる4階）

## 災害に強いまちづくりを研修

3町議会議員協議会研修会（若手町・一戸町・葛巻町） 6年11月11日に3町の議会議員が一同に会し、相互の研修と情報交換を行うことを目的とした研修会が、当町くずまゝるで開催されました。研修は「災害に強い安全・安心なまちづくり」と題し、波紫徳彰政策秘書課長の講演があり、これまで町が取り組んできた、地域情報化の推進や、防災拠点整備についての説明を受けました。

説明の後、くずまゝる内の防災室を見学した議員らは、町内10箇所設置された防災カメラの画像を一度にみることで、情報収集に役立つ」と感銘を受けていました。また、講演会後、町スポーツ協会神谷牧子氏を講師に健康アップ体操を実施しました。体操は、身体にも心にも効果のあるプログラムとなっており、体操を行う議員らは終始笑顔の絶えない、和やかな雰囲気



笑顔で体操を行う3町の議員（まき×まきホール）



たけはな ゆい 議員  
竹花 結

### 問 子育て情報に公式 LINE の開設は

### 答 効果的な情報発信について検討

その後、保健師、栄養士、保育士など、多職種が関わりを持ちながら情報を共有し、必要なケアやフォロー等のきめ細やかな対応に努めている。

**町長** 生後1か月から12か月までを対象とする乳児健診は、県医師会、県医療局、岩手医科大学附属病院及び盛岡赤十字病院と契約を締結し、県内全ての小児科医療機関での個別受診が可能な体制を整えている。法定健診の1歳6か月健診及び3歳児健診については、子どもの健康と成長を支援するため、より関りを深めた重要な母子保健事業として位置づけ、葛巻病院及び町専門職員による健診方式により実施している。周知方法については、新生児訪問の際に、パンフレットと各種受診票をまとめて作成したファイルで説明している。

**議員** 町外医療機関での乳幼児健診を希望した場合の対応と周知方法について伺う。

#### 各種健診の周知方法等

**健康福祉課長** ライフビジョン等を活用しつつ、子育て世代が欲しい情報を受け取りやすい方法を考えていく。

**議員** 現在配布が停止している子育てガイドブックの今後は、  
**町長** 平成28年から2年まで配付していたが、国や町の行政改革による様々な記載事項の修正が生じたため、3年以降は冊子形式のファイルへ移行した。



1歳6か月健診歯科講話の様子

も、就学前教育から義務教育、さらには高等学校教育まで、一貫した見通しを持った連続性のある教育の推進により、確かな学力の育成、児童生徒

**議員** 小中連携・中高連携における教育の取り組みと成果、今後の展開と方向性は、  
**町長** 総合的な施策となる教育大綱において「活力ある葛巻を創造するたくましい子ども」の育成を掲げ、町総合計画の実現に向けて「学び輝く人づくりと葛巻を愛する人材育成」を図るための教育施策を展開している。平成25年度から地域全体を一つの学び舎とした葛巻町ふるさとキャンパス構想を立ち上げ、開かれた学校、保育園、小学校、中学校、高等学校の4校種並びに行政、地域が連携した学校教育の展開を実施してきた。構想の立ち上げから12年経過した現在、児童生徒数が減少する中でも、就学前教育から義務教育、さらには高等学校教育まで、一貫した見通しを持った連続性のある教育の推進により、確かな学力の育成、児童生徒

#### 子どもたちの教育と今後の未来は

**議員** 学習機会の保証等への取り組みは、  
**教育長** 規定で定められた時定数、日数に沿って進めていく。また不登校児に対してもICT等を活用しながら学習機会の保証を進めている。

**議員** 学校の横の連携が重要となつてくると考えるが、  
**教育長** 広がる学びが重要と考える。遠隔オンライン授業等の新たな取り組みに引き続き注力しつつ、様々な活動を子どもたちの広がる学びに繋がるよう検討していく。



やまざき ひろくに 議員  
山崎 邦廣

### 問 防犯灯は充足しているのか

### 答 町内に1100基の設置対応

**町長** スマート街路灯は制御機器が搭載され、環境情報や交通データを収集し、省エネや交通安全などの対策に繋がるほかデジタルサイネージ（電子看板）による情報発信など、様々な活用が期待できるが、スマート街路灯の必要性や費用対効果

**議員** 防犯灯の増設やスマート街路灯の導入について伺う。  
**町長** 町内には、防犯灯が1100基、道路照明灯が90基設置されている。増設については、各自治会等から必要箇所の要望を受けた都度対応しており、設置個数等は充足していると認識している。

#### 防犯灯等の充足は

**議員** 防犯灯の増設やスマート街路灯の導入について伺う。  
**町長** 町内には、防犯灯が1100基、道路照明灯が90基設置されている。増設については、各自治会等から必要箇所の要望を受けた都度対応しており、設置個数等は充足していると認識している。

**議員** 防犯灯の電気代など維持管理に係る経費は自治会の負担があるのか。  
**総務課長** 防犯灯の電気代や設置等に係る経費全て町で負担しており、自治会の負担はない。

**議員** 夜間の照明不足の確認と対策について伺う。  
**町長** 防犯灯の増設は自治会からの要望を受け、随時対応しているため、不足していないと認識している。引き続き自治会の要望を伺いながら、安全安心な町づくりに努めたい。

#### 夜間の照明不足の確認

**議員** 夜間の照明不足の確認と対策について伺う。  
**町長** 防犯灯の増設は自治会からの要望を受け、随時対応しているため、不足していないと認識している。引き続き自治会の要望を伺いながら、安全安心な町づくりに努めたい。

#### 防犯ボランティア活動

**議員** 防犯ボランティア活動に参加しやすい環境充実のための必要な支援について伺う。  
**町長** 町では「葛巻町地域安全に関する条例」に基づき、防犯指導員8名を任命し、登下校の見守りや学校訪問のほか、各種イベントにおいて出動するなど、防犯のため必要な指導や防犯思想の普及に努めている。



町内に設置されている防犯灯

**議員** 防犯ボランティア活動に参加しやすい環境充実のための必要な支援について伺う。  
**町長** 町では「葛巻町地域安全に関する条例」に基づき、防犯指導員8名を任命し、登下校の見守りや学校訪問のほか、各種イベントにおいて出動するなど、防犯のため必要な指導や防犯思想の普及に努めている。

また、通勤、通学等の際には、町が委嘱している交通指導員をはじめ、交通安全母の会や自治会、PTA、スクールガードなどと連携して、交通安全の保持に努めている。今後も安全安心な地域をつくるため、各種団体等と連携するとともに、各種団体が行う活動に対して支援していきたい。



やまぎし み 山岸はる美 議員

問 婦人消防協力隊の今後の在り方は

答 組織の自主性を尊重

町長 婦人消防協力隊は、昭和56年に、安全で住みよい町づくりに寄与することを目的に、本部及び18の分隊で組織、結成され、現在は219名の隊員で構成されている。発足から40年以上が経過し、地域コミュニティによる自主防災組織の結成など、婦人消防協力隊を取り巻く環境は大きく変化しており、活動内容や組織の在り方を見直す時期を迎えていると考える。なお、盛岡広域管内では、6年度末をもって八幡平市婦人消防協力隊が解散する。一方で、婦人消防協力隊は、任意の自主防災組織であり、町が直接組織の在り方を決定する立場にないことから、社会情勢の変化を踏まえた在り方となることを期待する。

議員 婦人消防協力隊は町消防団の後方支援として長期にわたり活動してきた。今般、人口減少や高齢化に伴い、なり手不足もあり、隊員の平均年齢は62歳という状況であり、分列行進などの負担が大きいため、今後の協力隊の在り方について伺う。

婦人消防協力隊の在り方

町長 婦人消防協力隊は、町の各種行事のほか、広域消防組合や、地区支部主催の会議や研修会等に出席しており、公共性の高い活動であることに鑑み、活動に対する補助金のほか、町の規程に定める旅費・日当を支給している。

議員 「交通安全は家庭から」を理念に、事故の無い明るい社会づくりの一翼を担っているボランティア団体交通安全母の会の活動への助成内容について伺う。

婦人消防協力隊への支援の考え



消防演習で行進する婦人消防協力隊

交通安全母の会への活動支援



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

問 10年先の高齢化対応いかに

答 老後は住み慣れた地域で

議員 町の人口減少は、著しいが10年先の総人口と高齢者人口の推計及びその対策は、  
町長 10年後の人口は4430人の見込みで、現在より約940人の減。65歳以上の高齢者人口は2235人となり、現在より約490人減り、高齢化率は53%の見込み。人口減対策は、一定数の出生数の確保、健康増進、健康寿命の延伸等の施策を図る。人口の自然減の減少や町出身者の定着・移住の呼び込み対策により社会減の抑制を目指す。  
議員 高齢者世帯数、一人暮らし世帯数等の動向は。  
町長 町独自の推計で高齢者世帯数は1730世帯、その内一人暮らし世帯は770世帯、高齢者世帯450世帯、その他世帯510世帯の見込み。

2人に1人は高齢者

地域包括ケアシステム

町長 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けられるよう、医療・介護・生活支援などのサービスを包括的に提供する。在宅医療・介護連携を図り必要なサービスが受けられる体制整備を推進する。  
議員 健康寿命を延ばし、医療・介護費用の軽減を図るための介護予防施策は。  
町長 高齢化に伴う身体機能低下によって介護状態にならないよう、各地区で介護予防教室、歯つらつ栄養教室、リハビリ専門職によるフレイル予防の教室開催、シルバーリハビリ体操の普及など介護予防事業を継続実施していく。



日常動作に効果のあるシルバーリハビリ体操(冬部コミュニティセンター)

会計検査院の指摘事項

議員 11月7日の新聞で、町が整備した橋の事業で、特別交付税3668万円の過大交付があり、会計検査院が指摘したとの報道があった。その具体的な内容と経費は。  
町長 新たに架け替えた大橋の木製上屋を整備した事業。この事業の3年度分特別交付税算定において、過大交付があり、検査院が指摘したものの。今年度の特別交付税から差し引き調整される。



ふりーじゅで開催されたオレンジカフェ

※オレンジカフェとは…認知症について知りたい、学びたい、考えたいという人が誰でも自由に集える場所